

日本郵船 神戸コンテナ・ターミナル&コンテナ船の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、同プロジェクトの一環として、日本郵船のご協力のもと、8月3日（木）に神戸市・六甲アイランドに於いて神戸コンテナ・ターミナル及びコンテナ船「NYK DELPHINUS」の見学会を開催し、約 200 名の応募から当選した計 22 名が参加しました。

船内では同社 松浦船長・当協会 城戸船長の案内のもと、操舵室（ブリッジ）と機関室（エンジンルーム）を交互に見学しました。ブリッジでは航海計器の種類とその機能や読み方、舵の取り方、航海中の船員の役割分担などの説明を受け、参加者からは「どうして他の船が近づいてきたことが分かるの」「どうやって船は止まるの」など、様々な質問が飛び交いました。また、同船のドナルド・ダハオ船長（Capt. Donald G. Dajao）との記念撮影を楽しむことができました。さらに、エンジンルームでは、メインエンジンや発電機などを制御するモニターやメーター類のほか、実際にメインエンジンや推進軸など、エンジンルームの内部まで見る事ができました。



本船下船後は、岸壁より、ガントリークレーンで他船にコンテナの積み込み作業をしている光景のほか、本船がタグボートにて曳航されながら出港していくダイナミックな様子も見学しました。参加者からは「普段は入れない船の中を見ることができて楽しかった」「船は世界と繋がっているんだなと思った」などのコメントが寄せられ、海運や船を身近に感じてもらえる見学会となりました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

